

普及員への応援メッセージ ～これからも普及員とともに～

鳥取県農村青年会議連絡協議会会長 中谷 勇人

私が初めて普及員を知ったのは就農1年目でした。私の父のところに来られていましたが、当時、私は普及員というのはどういう仕事の方なのか全くわからず、父と何をやっているんだろうという感覚でした。



就農2年目に地元の若い農家さんから青年会議に誘われました。そこで、初めて普及員という仕事はどういうものかを学びました。

普及事業は、元来、農業生産や経営に役立つ試験場などで研究開発された新しい技術を農家に普及指導することが使命だと思いますが、その役割を直接担っているのが普及員だと思います。普及員は常に新しい情報を取り入れながら、技術指導を行い、農家の生産や経営上の課題解決につながる活動が求められていると思います。そして常に農家の庭先やほ場に姿があるのが理想と思います。

農村青年会議の活動の中では、色々と協力して頂きありがとうございます。夏のつどい、冬のつどい、研修会等を計画するにあたり、普及員から色々と指導、助言をいただいたり、開催に協力してもらい大変助かっています。

青年会議の活動の一つとして、プロジェクト活動がありますが、最初はなんて面倒な作業なんだと思っていました。

我が家の主力品目の一つはスイカですが、長年の連作のせいか障害が発生し年々収量が低下してきていました。普及員に相談したところ、要素欠乏の症状ということでした。この改善をテーマにプロジェクト活動をするのを勧められ取り組むことになりました。普及員に協力を頂き、土壌分析を行い施肥設計の見直しを検討しました。分析の結果、塩類が集積し、かなり過剰な状態となっていたため、除塩対策を行うなど色々助言を受けながら、数年間に渡りプロジェクト活動を進めた結果、障害の症状も徐々に見られなくなり収量も回復し安心してスイカを栽培できるようになりました。普及員にはプロジェクト活動の大切さを教えていただきました。実にそれから10年以上、毎年何か課題をもって農業をしています。自分にとっても勉強になり、普及員にとってもその品物を知ることができるいい機会だと思います。

農業に限ったことではありませんが、人手不足、高齢化と農業経営を取りまく環境は厳しいです。これから農業を志す人達、子供達に農業のすばらしさ、大切さを伝えるのは普及員の1つの役目だと思います。

今般の社会状況の中でいろいろと困難なことも多いと思いますが、農業生産や農業経営に必要な技術の普及指導を基本としつつ、地域の農業や農村の振興、発展のために農家に一番近い行政機関としてこれからも関係機関との連携のもと、普及員の農家の良きアドバイザーとしての活動を期待しています。